



創作ことわざ 作成のポイント

ことわざを上手に作りたい！やるからには入賞したい！
入賞をめざすあなたに、こと犬から3つのアドバイス

- ①「たとえの意味」を考えよう
- ②「ことわざの意味」をしっかり書こう
- ③ 文章を作りましょう



①「たとえの意味」を考えよう

たとえば

「灯台下暗し」

読んだ通りの意味：灯台は遠くを照らすけれど、すぐ下は暗い。

たとえの意味：身近なことなのに、わかりにくいというたとえ。

このようにことわざには、読んだ通りの意味だけではなく、教訓や生活の知恵などの『たとえの意味』があるのが一般的です。

読んだ通りの意味だけでなく、どんな状況で使えるのか『たとえの意味』を意識して作ってみましょう。



②「ことわざの意味」をしっかり書こう

たとえば

「灯台下暗し」

身近なことなのに、わかりにくいというたとえ。

灯台は遠くを照らすけれど、すぐ下は暗いということから。

創作ことわざは、意味が肝心です。どのような場面で使うのかを意識して「たとえの意味」を中心に書きましょう。「読んだ通りの意味」も書きたい場合は、「たとえの意味」に続けて「○○ということから」と由来として書くと、より伝わりやすくなります。



③ ことわざを使った文章を作りましょう

たとえば

「灯台下暗し」

スマホがないって言ってあちこち探しているけど、灯台下暗しだよ。今まで座っていた席に置いてあるじゃないか。

ことわざは、このように会話や文章の中で使えるようにできているものです。
思いついたことわざを使った文章を作ってみましょう。